

教会レポート

ユース、キッズクリスマス会

イエス様の誕生をお祝いするクリスマスの集いは十三日(土)はユース、十四(日)にキッズクリスマス会を行ないました。ユースは食事を共にしてDVD観賞とお菓子探し、キッズは紙芝居の後にケーキを頂きました。闇に光をもたらされたイエス様の輝きに照らされて、これからの歩みが守られますように共に祈りました。



イエスは言われた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」

(ヨハネ八章十二節)

クリスマス礼拝&教会学校表彰式

二一日(日)はアドベント第四週となり、ロウソクを四本灯しイエス様の誕生を心から喜びました。メッセージは向井嗣業牧師から「預言成就へ向かって」と題して、キリスト誕生には預言があつてその通りとなり、そしてこれから先の終末預言に触れ、最終的に新しい天と新しい地(天国)へ向かつて行く希望に心向けました。

また、教会学校表彰式を行ない、一年間子供たちが出席できたことを感謝し、表彰状とプレゼントが渡されました。



この日の昼食会は、サンドイッチとデザートが用意され、食事しながらクリスマスの喜びに浸り感謝でした。

キャンドルサービス

二四日(水)午後8時はキャンドルサービスを行ない、新しく来られた方々も含めて共にクリスマスキャロルを歌い、クワイヤー賛美を聴き聖書メッセージに触れ、キャンドルを手にしながら静かな夕べに神様からの愛の招きを感じる時となりました。



クワイヤー訪問

二五日(木)は東海市のメロディさんを訪問し、利用されています方々にクリスマスの賛美をお届けしました。笑みを浮かべて聴いて頂き感謝です。



ハッピーライフ

なぜ、生まれて来たの？

松元 和代

私には四十年間も思い続けて来たことがあります。

「本当の平和って何？」

人は、なぜこの世に生まれてきたの？

私は幼い頃、母の暴言と思い通りいかないとどんな時でも辛くあたられ、また、両親の仲は悪く、そのことでいつも振り回され、母の言いなりに育ってきました。

思春期を迎え、なぜ私はこの世に生まれて来たのだろう。その意味のわからなかった私は、いつも死にたいと思っていました。この世になんか生まれてきたくなかった。そう思い続けた日々がありました。

結婚をした自分にも子供ができました。二人目が生まれ子育てをしている時、ふと気づくと幼い頃、母に叱られていた

言葉で子供たちを叱っている自分がいました。私自身、愛情をうまく感じ取れずに育ったので、自分の子供たちには沢山の愛情を与えて育てたいと考えていたのに、幼い頃の嫌な記憶がよみがえってきました。

母のことを思うと憎しみが湧いて来る時もありました。その母も八人姉妹の末っ子で早くに母親を亡くし、十九歳という早い結婚。母には母のいろんな人生の思い通りに行かない事があったのだと思えるようになり、今は母の気持ちも理解できるようになりました。

今、世の中は突然の解雇で住む所を失ったり、体の病気、心の病気、災害、紛争とさまざまな状況にあります。

以前の私は、自分の進む道は自分一人で切り開いて行くものだと思っていました。信仰は、なくてもいいと思っていました。でも、それは間違いでした。私の苦しみや痛みをわかって下さる方がおられ、私は一人ではありません。目には見えませんが、偉大な愛とすばらしいおことばに出会え、とても温かく癒されるこ

とができました。

そんな中、「平和って何？」と、考え続けてきたことに対して、おのずと答えが見えきました。

平和とは、偉大な愛と信仰でした。そこから湧き出てくる癒しと希望です。

今、疲れていらっしやいませんか？一緒に探してみませんか！

人間の思いだけでは解決できないそんな時に、あなたの痛みをわかって下さるお方、まことの神様に一緒に委ねてみませんか。

「彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。初めの雨もまたそこを祝福でおおいいます。」

(詩篇八四篇六節)

「あなたの泣く声を

とどめ、目の涙をとどめよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。」

(エレミヤ三一章十六節)

